☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

丹波新聞　平成３０年３月１日（木）

「信用される人に」

氷上西高職業教育　鴻谷さんが講演

氷上西高校が2月21日、同校でキャリア・グローバル教育の一環として丹波ゆかりの講師を招く「チャレンジ講演会」を開いた。宿泊施設「もみじの里青垣」や鹿肉料理専門店「無鹿（むじか）」（柏原町）を経営する株式会社葉山の社長、鴻谷佳彦さん(40)が講演。仕事に対する真剣さや続けることの大切さを伝えた。1、2年生が耳を傾けた。

高校生たちに講演する鴻谷さん＝氷上西高校で

「働くということ」と題して講演。今、会社が求めている人材は「信用して仕事の任せられる人」とし、信用を生むには、料理界で言えば、洗い物や切る・刻む、勉強、あいさつをしっかりとする「姿勢」が大切だとした。また、修業時代に魚をひたすら切っていたことを挙げ、「何度も繰り返すこと。苦しいと思う作業でも続けることで楽しくなる。目安は1000時間。石の上にも3年が必要」と強調した。

このほか、学校の勉強はどの科目も社会で役立つことを話した。国語は料理の本の読解、英語は外国人の客の対応、数学は商品計算、理科は食材の加工、社会は客との話題づくり、体育はチームワークづくりに役立つとした。「苦手は致命傷」と言い、料理が上手でも、原価計算できない、流行りのグルメの勉強をしない経営者の店が倒産した例を話した。

人生は、自分が思う理想よりも必ず上がり下がりがあり、下がった時には諦めるのではなく、「できるイメージを持つことや加点主義などで自分を勇気づけて壁を乗り越えてほしい」と期待した。